


長野市復興だより ワン・ハート

ONE  HEART

オール松代で復興を応援

松代復興応援実行委員会

令和元年東日本台風により、千曲川支流・蛭川、神田川が越水・氾濫し、広範囲が浸水した松代地区。半壊・一部損壊を含めた住宅被害は約550件にも上りました。被災した地区住民を応援するため、2019年11月に住民の有志で結成されたボランティア組織が松代復興応援実行委員会。松代地区住民自治協議会の関係団体として、副会長の曲尾(まがりお)正子さんをリーダーに、すでに活動を始めていた若者の団体や、商店連合会など町内外の各種組織・団体との連携体制を構築。ボランティアによる個別訪問や、看護師・保健師による“まちの保健室”の実施、“応援グッズ”の配布、“あったか通信”の発行による情報発信など、常に被災住民の心に寄り添った活動を展開しています。6月には、災害の記憶を共有し、後世

に残そうと、地区内の紙芝居作家赤澤節子さんと連携して制作した紙芝居「伝えよう水害のこわさ」が完成。地区住民へ向けた防災啓発のために活用予定です。

「水害から時が経ちましたが、被災された方の中にはこれから本格的に、リフォームされる方もいます。被害を他人事にせず、記憶を風化させないようにしていくこと、後世に伝えていくことで地域の防災力を高めることが大切だと思います」

[INFORMATION]

松代復興応援
実行委員会

長野市松代町松代1360
松代地区住民自治協議会
TEL: 026-278-1885



被災者の皆さまへ

①被災した住宅の復旧に向けた講習会を開催します


令和元年東日本台風災害で被災し、自宅を新築または改修する予定の方など、自宅の復旧方法でお悩みの方に対し、建築の専門家が、新築、改修時に考慮すべき点や業者選定時の注意点、被災者の方が活用できる融資制度や補助金等を含めた資金計画について、資料を基にご説明致します。講習終了後には、住宅に関する相談も承ります。

被災住宅の復旧～新築、改修時のポイントと資金計画～

日時・場所	講師：長野県建築相談連絡会（長野県建築士会事務局長） 湯本 和正 氏 【第1回】令和2年7月30日（木）19:00～ 昭和の森公園フィットネスセンター（会議室） 定員20名 【第2回】令和2年8月 1日（土）14:00～ 長野市役所 第1庁舎1階（市民交流スペース） 定員20名 【第3回】令和2年8月 6日（木）19:00～ 柳原交流センター（大学学習室） 定員30名 【第4回】令和2年8月 8日（土）15:00～ 篠ノ井交流センター（学習室1） 定員20名 ※参加無料・先着順・講演時間は1時間を予定し内容は各回共通 ※第2回、第3回は託児を承ります。（無料／要予約／6ヵ月～未就学児／先着5名）
お申し込み方法	各回開催3日前の17時までに電話・Eメールで建築指導課へ
お申し込み・お問い合わせ先	建築指導課（TEL：026-224-8902 e-mail：shidou@city.nagano.lg.jp）

②建築士等の専門家が現地調査&アドバイスを実施します

被災した住宅の復旧に向けて、建築士等の専門家が技術的なアドバイスを行う相談制度があります。相談は全て無料で、現地調査をふまえた相談、現地調査を伴わない電話での相談や長野県建築相談連絡会事務局での面談による相談も随時承ります。詳細については、以下の各問合せ先URL、またはQRコードをご参照ください。

お申し込み方法	申込書に必要事項をご記入いただき、建築指導課（第2庁舎7階）までご持参いただくか、長野県建築相談連絡会まで郵送・ファクス・Eメールにてお申し込みください。 ※申込書は、建築指導課（第2庁舎7階）でお配りするほか、以下の各問合せ先URL、または右記のQRコードよりダウンロードできます。	
お申し込み・お問い合わせ先	長野県建築相談連絡会（事務局：（公社）長野県建築士会） 〒380-0872長野市大字南長野字宮東426-1 TEL：026-235-0561（月～金（祝休日除く）午前9時～午後5時） FAX：026-232-2588 e-mail：n-shikai@avis.ne.jp URL：http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/forvictim.php 建築指導課 TEL：026-224-8902 e-mail：shidou@city.nagano.lg.jp URL：https://www.city.nagano.nagano.jp/site/taifuudai19gou/442323.html	

③被災代替家屋に係る固定資産税・都市計画税の減額特例制度があります

令和元年東日本台風の災害によって滅失又は損壊した家屋（被災家屋）の所有者が、令和6年3月31日までに被災家屋に代わる家屋（被災代替家屋）を新たに取得又は新築等した場合は、申告により取得又は新築等の翌年から4年度分について、被災家屋の床面積相当分を上限に、被災代替家屋の税額（新築住宅軽減等の適用がある場合は適用後の税額）を2分の1に減額する特例制度があります。

この制度の適用条件、申告方法等については資産税課までお問い合わせください。

お問い合わせ先	資産税課（TEL：026-224-7176 e-mail：sisanzei@city.nagano.lg.jp）
---------	--

④被災中小企業者向け補助金をご活用ください(早めの申請にご協力ください)

県、市では、次のような補助制度を実施しています。ご活用をお考えの方はお早めに各窓口にご相談ください。

中小企業等グループ施設等 復旧整備補助金	地域企業再建支援事業費補助金	被災中小企業者支援事業補助金
施設や設備の原状復旧のための資材・工事費、設備調達費などにご活用いただけます。	事業再建のための土砂撤去・処分費、レンタル費などにご活用いただけます。	事業再建のための備品導入費、土砂撤去費、店舗改装費、レンタル費などにご活用いただけます。
目的 施設、設備の復旧・整備	目的 事業再建(販路開拓等)	目的 事業再建(販路開拓等)
対象者 中小企業者など	対象者 中小企業者など	対象者 中小企業者
補助率 3/4以内	補助率 3/4以内	補助率 3/4以内
補助限度額 15億円	補助限度額 3,000万円(下限200万円超)	補助限度額 200万円
申請期限 9月17日(木) 長野県産業復興支援センター TEL: 026-235-7325	申請期限 9月末 長野県長野地域振興局 商工観光課 TEL: 026-234-9527	申請期限 9月18日(金) 長野市商工労働課 TEL: 026-224-6751

※申請期限は7月8日(水)時点のものです。

⑤ブロック塀の安全点検はお済みですか？

台風被害により、道路沿いのブロック塀などは破損していませんか？

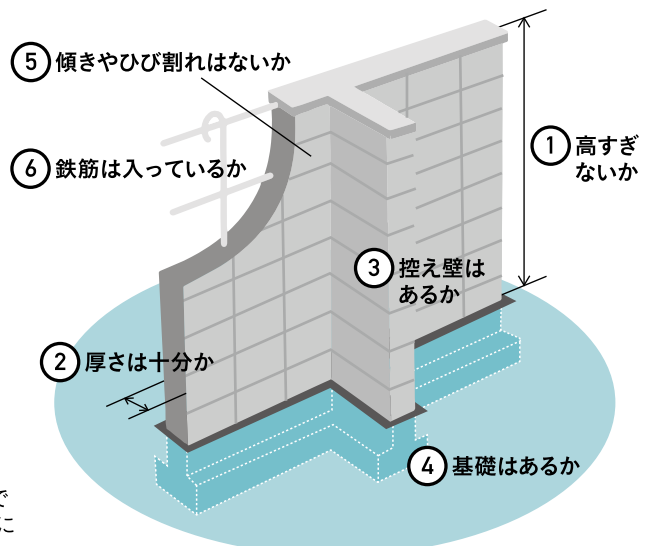
破損したブロック塀や基準に合わないブロック塀は、倒壊の危険性が高まります。

ブロック塀などの倒壊により人身損害が発生してしまうと、塀の所有者が損害賠償請求を受ける可能性があります。

避難経路の安全確保のためにも、ブロック塀の安全点検を行いましょう。ブロック塀の無料調査や、除却にかかる費用に対する補助制度もありますので、道路沿いにブロック塀を所有されている方は、お早めにご相談ください。

ブロック塀の安全確認ポイント

- 1. 塀は高すぎないか
塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
塀の厚さは 10cm 以上か。
(塀の高さが 2m 超 2.2m 以下の場合は 15cm 以上)
- 3. 控え壁はあるか(塀の高さが 1.2m 超の場合)
塀の長さ 3.4m 以下ごとに、
塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 以下の間隔で
配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋に
それぞれかぎ掛けされているか。
基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。(塀の高さが 1.2m 超の場合)



「出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改」

お問い合わせ先

建築指導課(TEL: 026-224-5076)

補助制度の詳細は、右記のQRコードからもご覧いただくことができます。



05



歴史に学び、より安心して暮らせる地域へ

長沼歴史研究会
笹井 妙音 さん

令和元年東日本台風による千曲川堤防決壊で、甚大な被害を受けた長野市津野の曹洞宗妙笑寺。
住職夫人で長沼歴史研究会会長の笹井妙音さんに、復興への取組状況、今後の課題について伺いました。

多くの支援への感謝を胸に

この地域は水害の常習地帯なので、私が嫁いでも大雨が降って堤外の畑が水に浸かることは度々経験してきましたが、今回の被害は誰も想像しなかったことでした。お寺の方は被害が大き過ぎて復旧も復興もまだまだ時間がかかります。古い資料など失った物も多く、全てが元通りという訳にはいきませんが、できるだけ元に近い状態に戻せるように、多くの方々に支えられながら頑張っています。先日は、地域住民とボランティアの方達で構成する「長沼復興会」で月遅れの端午の節句に合わせて200食のお弁当とちまき、柏餅を用意したところ、地域の人が喜んで取りに来てくれました。今まで受け身だった被災住民も一緒に参加するなど徐々に自ら立ち上がれるようになってきました。被災直後からずっと



被災直後から多くのボランティアが駆け付けてくれた

支えてくださっているボランティアの方には感謝の気持ちでいっぱいです。

歴史は地域の共有財産

10数年前、地域の歴史を知りたくて、長沼城について調べ始めたことがきっかけで、長沼歴史研究会を立ち上げました。武田信玄



天保時代に彫られた御神籤の版木。どうしても残したい、と泥の中からボランティアとともに拾い集めた

ゆかりの長沼城については未解明部分が多く、史料収集も大変でしたが、古い史料から城を中心とする地域の歴史を紐解いていくと、多くの発見と学びがありました。過去の度重なる水害で、長沼城と城下町はほとんど跡形もなく流されてしまいましたが、残された歴史を地域の財産にしたいと思って活動を続けてきました。

築城400年記念の2016年からは長沼小学校6年生の郷土学習で、水害を含めた地域の歴史とともに、人間が造ったものに完璧なものはないこと、自然にはかなわないことなどを伝えています。

未来のために伝え続ける

地域の歴史は、先人たちからのメッセージです。過去2番目の水位を柱に刻んだ令和元年の大水害。その背景などについても、歴史から多くのヒントを得ることができました。多くのものを失った今、胸を痛めることも多々ありますが、残ったものを大切に未来につなぐことが重要と考えています。この経験から得た教訓を含め、長沼の歴史をこれからも地域の子供たちに伝えていきたいと思います。



被災住民の皆様へ

7月11日(土)の妙笑寺七夕祭では、住民の皆さまの長沼の未来へ向けた願いを七夕の短冊に書いて飾ります。第12回全国書道パフォーマンス甲子園で優勝した長野県立松本蟻ヶ崎高校書道部による復興支援の書のパフォーマンスもあります。皆さまぜひお越しください。

長沼歴史研究会
長野市大字津野849 (妙笑寺)
TEL: 026-296-9621



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 04 令和2年7月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課

電話: 026-224-9728 e-mail: fukko@city.nagano.lg.jp

詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/>